



平成29年度総会



市役所8階大会議室にて平成29年度草津市国際交流協会総会を行いました。

平成29年4月22日(土)午前10時より、草津市役所8階大会議室にて草津市国際交流協会の平成29年度総会が開催されました。正会員数63名のうち、17名の出席者ならびに委任状提出23名の合計40名となり、過半数を超えることから総会が成立したことをご報告いたします。

南啓次郎会長の開式の挨拶では、新年度がポンティアックとの姉妹都市締結40周年の前年にあたる重要な年であること、市内在住外国人へのサポートとKIFA会員拡充の重要性について話がありました。続いて、善利副市長が橋川市長からの手紙を代読され、多文化共生の重要性、文化庁助成事業、上海徐匯区への桜寄贈について等、昨年度のKIFAの活動についての感謝と今後の活動への期待の言葉をいただきました。

本会については、南新介議長の進行のもと各部会長より活動報告がされ、第1号、第2号議案が全会一致で承認されています。第3号議案では、新役員の人事が提出され、青地新副会長、多文化共生部会の部会長として鶴田理事、副部会長に廣瀬理事、国際交流国内交流部会の副部会長として秀蓮理事、また新理事として治田美紀奈さんが就任されています。また、今回16年間KIFAの活動に貢献いただいた奥河副会長が退任され、退任挨拶時には、参加者から今までの功労に対する敬意と感謝の拍手がありました。第4号議案ならびに5号議案についても出席者の総意をもって承認され、閉会しました。

(広報部会部会長 石光 堅太郎)

総会イベント英語講演会

総会終了後、ウズベキスタン出身の留学生ノディーラさんが日本とウズベキスタンの経済関係について英語でお話をしてくださいました。

Japanというブランド

～ウズベキスタンと日本の有効経済関係～

by ノディーラ・クルバンバエバさん

KIFA総会に続いて行われた英語講演会は少し遅れてのスタートとなりましたが、講師のノディーラさんは手作りのウズベキスタン料理を私たちのために準備してくださったので、その心のこもった手料理をいただきながらの講演会となりました。

ウズベキスタンは海がなく大陸に囲まれ、一方日本は海に囲まれており、地形的に共通点があるからか、民族の考え方や性格が似ているとおっしゃっていました。また両国は経済だけでなく、文学や芸術の分野でも古くから友好関係があるとのことでした。講演の内容は「国のブランディング」という大学の研究発表のような内容で、「ウズベキスタンも良い文化を持っているが、発信するのが下手。日本のソフトパワーを学んで発信していきたい。」と結ばれました。

日本を“ブランド”という感覚でとらえたことのなかった私には少々難しい話でしたが、普段自分が当たり前にとっている行動や物事の考え方は、実は日本人の根底に流れ続けている精神に



よってのことであり、それが日本のソフト面でのパワーの源になっているんだなあということに気付くことができました。「例えば日本人の勤勉さや親切さも、そしてKIFAのような活動もソフトパワーですよ!」と後日ノディーラさんにお会いした時に言っていただきました。国際交流を通して多文化共生社会を実現したいという私達の活動そのものが、『日本というブランド』に繋がっていくことを楽しみにして、今後の活動を続けていきたいと思えます。

(KIFA理事 多文化共生部会部会長 鶴田 真理子)

Discovery Café「話し合おう!KIFAでできること」

今年1回目のDiscovery caféは、KIFAのこれからについて話し合いました。



4月21日(金)UDCBK(アーバンデザインセンターびわこ・くさつ)を利用して、多文化共生部会Discovery Café「話し合おう!KIFAでできること」を開催しました。日本人と外国人合わせて14名の方が参加して下さいました。そこで、今まで課題に挙がっていた”KIFA活動の中で、私達ひとりひとりにできることって、いったいどんなことがあるだろう”をテーマに2班に分かれて話し合いました。

まず初めに、中西副会長・鶴田部会長から、多文化共生についての研修報告を受けました。



そのあとはポストイットを使って意見交換をしました。先に多文化共生について研修報告を受けたこともあり、とても有意義なディスカッションができました。



その中で印象に残ったものは、もっと外国人を主役にした企画をしていきたいというものでした。これからのDiscovery Caféは外国人と一緒に企画・運営をすすめて、一歩ずつですが自分たちが理想とする多文化共生ができる場づくりを楽しんで創り上げていきたいと思えます。



みなさま
たくさんの貴重な意見を
ありがとうございました。

(KIFA理事 廣瀬 正史)

インターナショナルライブ in 酒蔵 ～モンゴル編～

恒例のインターナショナルライブin酒蔵、今年はモンゴル音楽を楽しみました。

平成29年2月3日(金)に草津の太田酒造で開催された、モンゴル音楽の酒蔵コンサートに参加しました。テーブルには太田酒造で作られた日本酒やワイン、ごちそうが並び、相席になった方とお酒を注ぎあって、開演を待ちました。出演者お一人目はモンゴル民謡オルティンドーの歌手・伊藤麻衣子さんです。モンゴルで修行をされた麻衣子さんによる歌の解説も興味深かったです。オルティンドーを聞いていると、モンゴルの広い草原のイメージが浮かびました。どこまでものびていく地平線まで届きそうな、力強い歌声に圧倒されました。



そしてお二人目は内モンゴル自治区出身のWei Liuさんです。抜群の歌唱力、流ちょうな日本語での軽快なトーク、素晴らしいエンターテイナーでした。氷川きよしの「きよしのズンドコ節」も歌ってくださり、掛け声は「Wei Liu!」で会場が大いに盛り上がりました。終わってから、お二人と並んで写真を撮ってもらったのですが、お二人とも大きくてどっしりとしていて、歌の感じそのものでした。2年前に酒蔵コンサートに出演させていただき、今回は観客席で美味しいお酒とご飯を楽しみながらコンサートを楽しんで、改めて良い場所、良いコンサートだなあとしみじみ感じました。一緒に参加したボリビア人の夫も大いに楽しんでました。音楽と美味しいお酒と、人の輪。これ以上の組み合わせはないですね。来年の酒蔵コンサートも今からとても楽しみです!

(浦田 広美)

写経体験

平成29年5月7日(日)に写経、本格的なお茶席、公園でのピクニック、ジェスチャーゲームなど日本文化を満喫する楽しいイベントを開催しました。

ともかく晴れて良かった!から始まった一日。楽しかった!久しぶりに公園で童心にかえてジェスチャーゲーム、じゃんけん、ハンカチ落としは、歳を忘れて思いっきり走っていた。外でお弁当を食べるのも、遠い昔の運動会みたいで楽しかった。留学生の皆さんも、子供の頃の遊びを思い出したのではないのでしょうか?

昼からはお寺(西勝寺)へ移動して、涼しい本堂で一息ついて住職のお話を聞き、写経チームとお抹茶チームに分かれ、私はお抹茶へ移動しました。亭主は住職のお嬢さんで、席に着くと部屋の設えからお点前まで、英語と日本語で親切で丁寧に説明していただきました。タイからの留学生が茶の湯の体験があったのか、濃茶の作法をしないといけないと思ったようで、薄茶の作法に戸惑っておられました。次に写経と写仏の体験に移動しました。写経は身を清めて行うのですが、小さな容器に入った粉を手付けて清めました。留学生が、「この粉は、母国では薬だ」と言っていました。写経は観音経の一部を、写仏は仏さまの絵を映します。涼しい本堂で、しばらく静かに各自が写しを書いていました。小さな子供がいましたが、いつの間にかスヤスヤと眠っていました。



今回は西勝寺の皆様にお世話になり、本当に感謝いたします。

お茶のお点前は日本の「おもてなしの心」なので、一回だけでなく幾度かこのような機会を作るのもいいのではないかと思います。お客さまだけでなく、亭主の体験ができればもっと素晴らしいと思います。

(KIFA会員 山川 雅子)

Kemelova Aisuluu
Kyrgyzstan
Ritsumeikan University

The culture of the «sun rising country» always was interesting to me. Living in Japan is a great chance to meet and enjoy with local traditions. The best way to understand the culture better is to learn from Japanese people since they can explain traditions in details. That is why I always try to participate in different events. KIFA is a nice organization which provides opportunity to foreigners as well as local people to meet with each other and communicate.

On May 7th, KIFA organized the event to introduce one of the Japanese cultures «Shakyo». It was my first time to experience copying Buddhism sutra. In the beginning I was wondering whether I could write or not, because Japanese characters are not easy at all. However, tracing was not very difficult, but still it requires concentration. During the process of writing I was feeling relaxed, thinking about good things and made wishes to me and my family. My understanding is that Shakyo is like meditation and praying for the fulfillment of one's greatest wish. Besides religious purposes, Shakyo is to reflect on ourselves, or to attain mental well-being by mindfully tracing the sacred scriptures. It does not matter if one has faith in Buddhism or not, or if one's writing is good or not.

After that I experienced the most awaited cultural activity called tea ceremony. Every foreigner visiting Japan must have experienced tea ceremony. It is a beautiful ritual of preparing and serving Japanese green tea, called Matcha together with traditional Japanese sweets to balance with the bitter taste of the tea. Preparing tea in this ceremony means pouring all one's attention into the predefined movements. The whole process is not just about drinking tea, but is about aesthetics, preparing a bowl of tea from one's heart.

So, I had a wonderful day full of good impressions. This day was very fruitful for me because I experienced the world known Japanese traditions such as tea ceremony and Shakyo. Also I made many new friends from Thailand Indonesia, China, Philippines, Japan. We enjoyed playing games in the park. It was really memorable day.

(キルギス出身 立命館大学 Kamelova Aisuluu)

平成28年度文化

平成28年度文化庁助成「生活者としての外国人のための日本語ひろば・きずな」と市内の日本語ボランティア団体「オリーブ」が

KIFAの日本語教室「日本語ひろば・きずな」

平成28年度文化庁の「生活者としての日本語教育事業」をKIFAでは、中上級4回(本音とたてまえ、俳句、敬語とマナーなど)と体験型授業を13回行いました。文化庁事業の2年目にあたり、ニーズを拾い上げより生活に密着したもの、そして彼らが地域の一員としてつながりができるように、日本人にも若干名参加してもらいました。この広がりを次年度にもつなげていきたいと思っています。

①地域のママと子育ての課題を話しあっています。



②七夕まつりで日本語のできる外国人機能別消防団員が留学生たちに防災の手ほどき



③典型的な日本のお宅で住まいの見学とお茶の作法を学ぶ



④草津のびわこ博物館へGO。



⑤子供の特別な日のお弁当に飾り巻きすし作り



⑥草津市のごみが11種類に分別され再利用されていることに驚き、質問があいつぎました。



⑦草津小学校へ見学に行って校長先生から学校の様子をききました。



⑧剣道体験



⑨日本舞踊を体験し畳の部屋でのマナーを学ぶ



⑩書道体験



⑪草津の歴史を学ぶためまち歩き(本陣、街道交流館、太田酒造)



(KIFA副会長 中西 まり子)

庁助成事業報告

「教育事業」の一年間の活動報告です。KIFAの日本語教室「日本語担当し、さまざまな学びの場を提供しました。

文化庁オリブ事業

オリブでは、「スーパーで買い物をしよう」や、「電車の乗り方」など、初級学習者を対象にした授業のほかに、ある程度日本で生活している人がより暮らしやすくなるようにと「敬語」「俳句」「関西弁」「オノマトペ」の授業を実施しました。また、最後に地域の人とそれぞれの地元について語り合うイベント「ジモトーク」を開催し、学習した日本語で交流する楽しさを味わってもらいました。

【はじめまして】
自己紹介をしよう。



【スーパーで買い物をしよう】
座学のあと、近くのスーパーへかけて買い物に必要なことばや会話を勉強しました。



【電車の乗り方】
「電車に乗って出かける」がテーマ。安い切符の買い方も覚えました。



【関西弁】
おおきに、わからへん、ちゃう、ほんま、めっちゃなどを使って、会話の練習をしました。



【オノマトペ】
日本語でよく使う、擬音語擬態語を勉強しました。
さわって、つるつるとざらざらを体感。



【森の中でオノマトペ】
辺いきものの森でオノマトペクイズに挑戦。ぎこぎこ。



バームクーヘンづくりもしました。



【じもとーく】
日本人も外国人も地元の良さをアピール。



(オリブ 恩地 美和)

私のスリランカ冒険記

KIFA理事の廣瀬さんが友人ダミスさんの結婚式に参列するため、初めての海外であるスリランカへ行った時の体験レポートです。



【スリランカ大冒険】

私はスリランカ人の友人ダミス スレシュさんから結婚式の招待を受け、3月3日から1週間スリランカに行ってきました。初めての海外旅行で日本語しか話せない私にとっては大冒険でした…

【ダミス スレシュ】

そもそもなぜ彼から結婚式の招待を受けたのかというと…

彼との出会いは、草津市国際交流協会の日本語広場で交流した事がキッカケでした。何度も一緒にイベントをしていく中、気が付けば一緒に住んでいました(笑)。

約3年間日本で一緒に生活した彼は、昨年スリランカへ帰国し、今年の3月8日に結婚式を挙げました。そんな不思議な縁が今回の大冒険へとつながりました。



【ホームステイ】

スリランカにいる間は、ダミスの実家にホームステイさせていただきました。食事は毎食カレーでした。魚のカレーに、野菜カレー、ココナッツを使ったカレーなどを自分好みにお皿の上でご飯に混ぜて食べます。初日はみんなと同じ様に手で食べていましたが、これがなかなか難しく…二日目からは、スプーンとフォークを用意して下さいました(笑)。お味はとってもスパイシーでした。それと、

やっぱり紅茶が美味しかったです。

【ココナッツの収穫】

彼の実家にはココナッツの木があり、それをココナッツおじさん(勝手にそう呼びますが…)が来て、木に登って取ってくれました。木の下ではココナッツおばさんが待機していて、見事な連携プレイでココナッツを収穫されました。



【コロombo観光】

コロomboを車でドライブしました。

道路は戦場でした。トゥクトゥクと呼ばれるオート3輪のタクシーとオートバイが車の間を縫って走ります。そこにバスも強引に割り込んできたりと、熾烈なバトルが展開!クラクションで合図をし合い、追い抜いたり割り込んだり、車線なんて関係ない状態で隙間があればドンドンいきます。

運転中はあの温厚なダミスのイメージが少し変わりました(笑)。



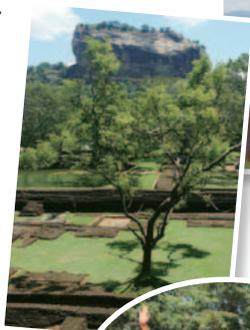
【シギリヤ】

コロomboから車で約8時間のドライブ。途中ココナッツジュースを飲んだりしながら、目的地の世界遺産シギリヤロックへ…標高約370mの岩をほぼ階段で登って行きます。そこは、王宮跡でシンハラ王朝5世紀(477-495)の頃、カッサパ王によって創られたもので、484年頃の完成からわずか11年でその歴史を閉じます。

【旅を終えて】

今回の大冒険を無事に達成できたのは、ダミスをはじめ彼の家族や友人、周りの全ての人が私の事を気にかけて下さったおかげと大々大感謝しています。全く言葉が理解できず、何も伝えられない自分が情けなる瞬間もたくさんありましたが、そんな時も一生懸命身振り手振りも合わせながら、解かるまで話しかけて下さいました。2歳の子供よりも手が掛かる程でした(笑)。

また必ずこの恩を返すため、もう一度スリランカへ行く決意して、私の冒険記とさせていただきます。英語も勉強しよっと…



ස්තූතියි ストウーティー
ありがとうスリランカ

他団体紹介の第3弾です！！

今回は、草津市とポンティアックを結ぶ団体「ポンティアッククラブ」です。

草津ポンティアッククラブ

1978年に草津市と米国ミシガン州ポンティアック市との間で姉妹都市調印がなされ、この年を皮切りに2市の間で相互交流がスタートしました。当時、交流プログラムの一環として高校生の相互留学派遣があり、1982年にポンティアック市から初の留学生エリザベススキッパーさんが、GMのポンティアックファイアーバードを伴って来草しました。彼女が留学生活を送って帰路につく前に、ポンティアックを訪問した人たちが中心となって、送別の会を開き、同時にポンティアッククラブの発足となりました。その後、草津市使節団や教員視察調査団の派遣、ポ市使節団やポ市教員視察団の受け入れなど、交流事業に大なり小なり関わってきました。

1998年に姉妹都市提携20周年を迎え、当クラブは厚みのある真の交流を進めるため、ポ市を訪問した志を一にするものが集い、新生の草津ポンティアッククラブとして再スタートしました。その後、クラブ員の交流を第一義として、ロクハ公園にあるポンティアック広場の整備、クラブ員同志のレクや親睦会、ALT招待やJCMUでの学習会、ミシガン州からの来草者との懇談や情報交換など、地道ではありますが、確かなクラブ活動を展開してきました。2013年には、当クラブ独自でポ市の友人を訪問し、懐かしさと合わせ今後の交流展望に弾みをつけたところです。

2018年は、姉妹都市提携40周年を迎えます。当クラブでは、これまでに得た貴重な財産を活かし、人の交流を中心にポ市との新しい関係構築に楽しみながら活動を展開していきたいと思っています。(会員数：32人)

草津ポンティアッククラブのシンボルとして1998年ポンティアック市との姉妹都市提携20周年を記念して、ロクハ公園に星形モニュメントを造りました。ポ市から来草の使節団員の手形があしらっています。私たちは、ポンティアック広場と呼んで、定期的に清掃を行っています。この写真はXmas仕様にしたもので、カードにしてポ市の友人に送りました。



2005年ポ市からの来草者を招き、ポンティアック広場横でシュガーメイプルの記念植樹を行いました。今のポンティアック市長のウォーターマンさんも団員の一人でした。

和気あいあいの当クラブの総会です。名誉会長の橋川草津市長も交え、新年度事業の協議に花が咲きます。



2013年8月ミシガン州リポニア市のバイリンガル学校のテッドさんとALTのターナーさんを講師に第二外国語の大切さを学習しました。

2014年9月当クラブのポンティアックの友人を訪ねるツアーを前に、彦根市にあるミシガン大学連合日本センターJCMUで事前研修をしました。講師は、交流ディレクターのマリリンさんで、現在はミシガン州交流委員会の委員長として、滋賀県との交流プログラムの中心人物として活躍されています。



2015年8月ミシガン州親善使節団の団長として来県されたマリリンさんを迎え、ミシガンやポンティアック情報を得るための楽しい歓迎懇談会を開催しました。

当クラブでは、会員とその家族、友人との親睦を図るためポンティアック広場での花見茶会やゴルフ大会等を適宜開催しています。



募集 感じて、ふれて、べとなむ!

草津にはたくさんのベトナム人が住んでいることをご存知ですか?文化や食べ物、いろいろな体験を通してベトナムの皆さんと楽しい時間を過ごしてみてください。

- 日時: 7月9日 9:00~12:30
- 場所: 野路町新宮会館(草津市野路6-14-12)
駐車場有り

- 参加費: 300円
- 定員: 100名
- 申し込み開始: 6月19日
- お問合せ・お申込み:

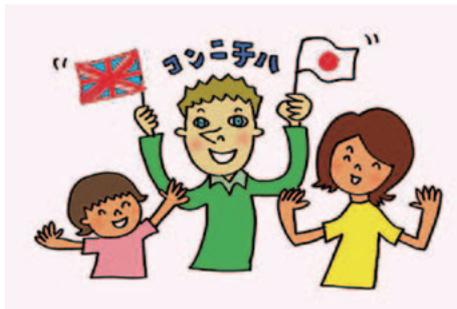
草津市国際交流協会事務局窓口・
電話・メール・FAXにて



募集 平成29年度 後期英語サロン

講師にイギリス人のデイビッド・スメリーさんをお迎えして、毎回違ったテーマで英会話を楽しむ英語サロンの参加者を募集します。全10回のコースとなります。有料の託児サービスもあります(先着4名・1歳以上)。

- 日時: 9月25日~12月4日の期間中毎週月曜日
(祝日除く)
【初級】9:30~10:30(60分)
【中級】10:35~11:50(75分)
- 場所: 草津市立まちづくりセンター(西大路町9番6号)
- 定員: 各級ともに先着12名
- 参加費: 【初級】KIFA会員6,500円・一般9,500円
【中級】KIFA会員9,000円・一般12,000円
- 託児料金: 【初級】4,800円
【中級】6,000円
- 申し込み開始: 8月3日(木)
- お問合せ・お申込み: 草津市国際交流協会事務局窓口・
電話・メール・FAXにて



案内 賛助会員・正会員特典のご案内

草津市国際交流協会は賛助会員・正会員のみなさまからの年会費のご支援を受けまして事業を展開しております。賛助会員・正会員のみなさまには以下の特典があります。みなさまのご入会をお待ちしております。

- 会報誌「KIFAスクウェア」の送付
- 当協会主催イベントの参加費割引
- メール配信によるイベント案内(要登録)
- 当協会主催イベント早期申込枠(定員の1/3とする。HP・会報誌等でイベント内容を公開した時点で先着受付開始。)
- 当ホームページ等にて法人名の掲載。

- 年会費: 個人等:一口2,000円 学生:一口1,000円
法人等:一口10,000円

- お問合せ・お申込み: 草津市国際交流協会事務局窓口・
電話・メール・FAXにて

募集 ホストファミリー募集

草津市は平成29年10月に姉妹都市・米国ポンティアック市より国際交流大使として中学生と引率者の総勢二十数名を11日間にわたり迎えることとなり、草津市国際交流協会も市と協力して準備を進めています。そこで、下記①②の期間で中学生と引率者を受け入れてくださるホストファミリーを募集いたします。希望者多数の場合は、選考のうえ決定させていただきますが、中学生と引率者のペアでの受け入れてくださる方、市内中学校や市役所までの送迎ができる方を優先させていただきます。

- 受入期間:
 - ①平成29年10月24日(火)夕方~10月29日(日)午前
 - ②平成29年10月29日(日)午前~11月2日(木)午前
 詳しくは草津市国際交流協会ホームページにてご確認ください。(KIFA草津で検索)
- 申込期間: 平成29年6月15日(木)~7月14日(金)
- 謝礼: 受入れ1人・1泊あたり 2500円
- お申込み: ホストファミリー申込書にご記入のうえ郵送・メール・FAX・窓口持参いずれかの方法にてお届け下さい。

※ホストファミリー申込書は、KIFAのホームページでダウンロードできます。事務局にもございます。

